

B&G財団ではスポーツや自然体験を通じた青少年の健全育成活動を行っている。その中で子供には「失敗しても強い気持ちを持って挑戦する」ことを日頃から伝えている。このような取り組みを社会に広めるため女優の酒井法子さんを「子ども健全育成大使」に任命した。年数回、子供たちとのイベントにボランティアで参加する。トップアイドルの地位を築いていた酒井さんは平成21年に覚せい剤取締法違反の罪で有罪判決を受けた過去がある。

その後は立ち直り、福祉施設でのボランティア経験や社会貢献に前向きであることなどの理由で酒井さんを任命した。就任式では「私がこんな大役を務めて

B&G財団理事長 菅原悟志



〈すがわら・さとし〉  
大正大学客員教授。日本  
ゲートボール連合理事。  
日本海事科学振興財団  
(船の科学館) 理事。

まってしまうのではあまりに寂しい。犯罪は地域社会の中で発生し、更生する場所も地域社会である。社会の一員としてやり直すには本人の強い意志はもとより、周りの温かい理解と支援が欠かせない。その環境が生まれないければ再犯という悪循環をもたらしかねない。

取り巻く状況は厳しいが、それでも心を入れ替え社会に貢献する姿勢を見せることも罪を償う一つのあり方だ。犯した罪が

は8月、子供たちの海離れを解消するためのイベントが行われた。「子供たちにイベントを通して海の楽しさ、大切さを知ってもらえたらうれしい」と大使として挨拶した酒井さん。一目見ようと集まった1100人とともに各種ゲームに参加した。保護者からは「気さくに娘との写真にに応じてくれた」「こんな暑いなかでも笑顔を絶やさず子供と遊んでくれた」との声があった。気温30度を超える中、額

酒井法子さん「大使」任命の理由

ていいのだろうかという気持ちに正直なりました」と胸の内を明かし、「たくさんの方に迷惑をかけた。まっさらな気持ちになって社会の役に立ちたい」と決意を語った。

これを受けてネット上では「社会的大問題を起こした人。即刻取り消せ」「子供たちに悪影響。選ぶ方も悪い」「犯罪者はまた同じことを繰り返す」といった批判や苦情など多くの厳しい意見が書き込まれた。

社会には罪を犯した人に対して自己責任だと見放し排除しようとする風潮がある。だがさまざまな境遇や環境によっては誰もが犯罪者になりうる。一度の過ちでその後の人生すべてが決

■ 麻 乱 答 解 ■

消えることはなく過去の負の部分が改めて表面化することは避けて通れない。活動により耐え難い批判にさらされ自分だけでなく家族も傷つくこともある。

それを承知のうえで酒井さんは就任を決心した。その決断と勇気を評価したい。覚醒剤事犯の再犯率は高いといわれるが判決後9年たったいままで同じ愚を繰り返してはいない。失ったものも多いい中で悲しみ、悩み、苦しみつづ、つらい日々を乗り越えた。就任を認め難いという人もいるが、どんな過去があっても現在は一歩前に踏み出し道を開こうと必死に努力している人がいることは理解してほしい。

静岡県牧之原市の海水浴場で

に汗をにじませながら子供たちと一緒に会場を盛り上げた。

今後大使としてたくさんの子供と触れ合い夢を与えてもらいたい。私たちは人の過去に捉われマイナスのレッテルを貼ってしまいがちだが、大切なことはこれからの行動にどう目を向けるかだ。「過去は変えられないが未来は変えられる」。今後の酒井さんの活動を見守ってほしい。誰に対してもチャンスを与える社会であっていい。柔軟で多様なものの見方を大事にしたい。愚かさや崇高さの両方を備えているのが人。誰かを責めるのも手を差し伸べるのも人である。ならば人が持つ可能性をこれからも信じてほしい。